

いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点

復興から次世代につながる先端的モビリティの創出

総合調整機関

公益財団法人 いわて産業振興センター
〒020-0857
岩手県盛岡市北飯岡2-4-26
TEL019-631-3825

参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…いわて自動車関連産業集積促進協議会
- 学…**岩手大学**、**岩手県立大学**、一関工業高等専門学校
- 官…岩手県、**岩手県工業技術センター**
- 金…岩手銀行、北日本銀行



プロジェクトディレクター
久郷 和美

略歴：関東自動車工業(株)生産調達企画部長・岩手工場副工場長、(株)ケイ・イー・プロテック 常務取締役を経て、公益財団法人いわて産業振興センターにて現職に至る。

これまで岩手県に蓄積された自動車産業の基盤を軸に、世界と競争できる地域イノベーションの拠点として、技術革新をベースに、震災からの復興と持続的な発展を目指す。この実現のため、岩手県の産学官金が結集し「オール岩手」として総力を結集し、東北を、岩手を自動車産業の開発～生産の一大拠点とし、岩手県の震災からの復興、県内企業の競争力強化を図っていく。

地域イノベーション戦略

科学技術による技術革新をベースに震災からの復興と持続的なイノベーションを実現する地域を目指す。具体的には、これまで岩手に蓄積された自動車産業の基盤となる金属、プラスチック、電子デバイスなどの材料開発、先端制御や付加価値を生むICT技術の開発を中核とし、高度技術者の育成、産学官金による事業化の加速化を図り、将来を見据えたモビリティのイノベーションを進め、日本のものづくりの成功モデルを構築する。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：岩手大学、岩手県立大学）

材料・高度加工技術、電子デバイス技術、ICT技術等の重点分野に関する研究者の招へいと産学官共同研究の推進・活動支援を行う。

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：岩手大学、岩手県立大学、一関工業高等専門学校）

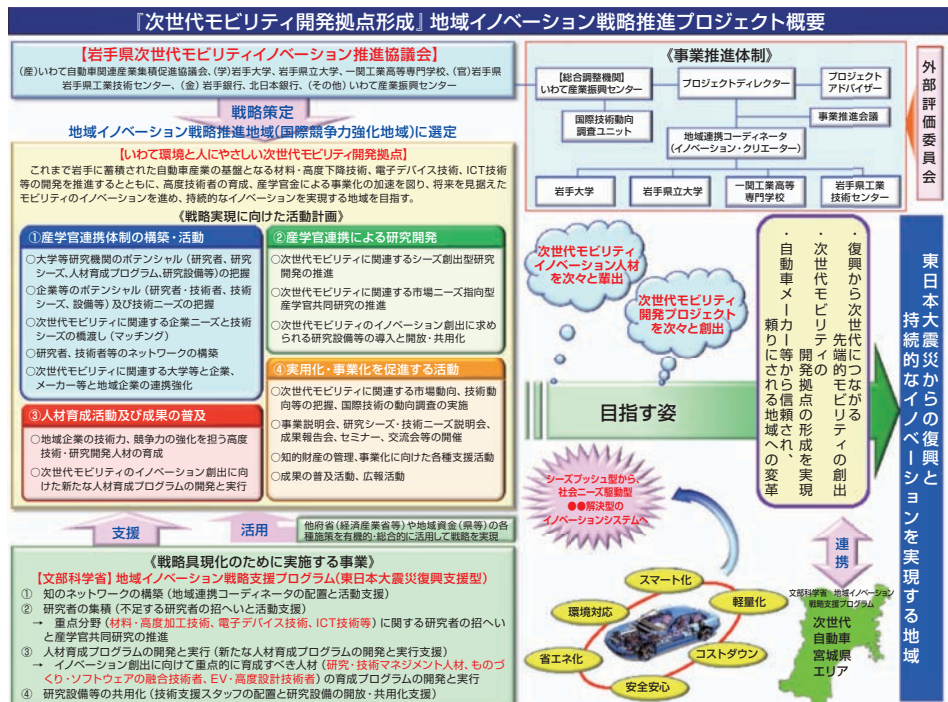
イノベーション創出に向けて重点的に育成すべき人材（研究・技術マネジメント人材、ものづくり・ソフトウェアの融合技術者、EV・高度設計技術者等）の新たな人材育成プログラムの開発と実行支援を行う。

3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：いわて産業振興センター）

自動車産業に精通したプロジェクトディレクターを中心として、各参画機関に駐在する地域連携コーディネータ(イノベーション・クリエーター)による「ニーズの掘り下げ」を行い、研究開発テーマの方向性を調整しながら、研究開発から実用化・製品化に通じる次世代モビリティのイノベーションを創出する取組を行う。

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：岩手県工業技術センター、岩手大学、岩手県立大学）

技術支援スタッフの配置と既存・新規研究設備等の開放・共用化支援を行う。



東日本大震災からの復興と持続的なイノベーションを実現する地域